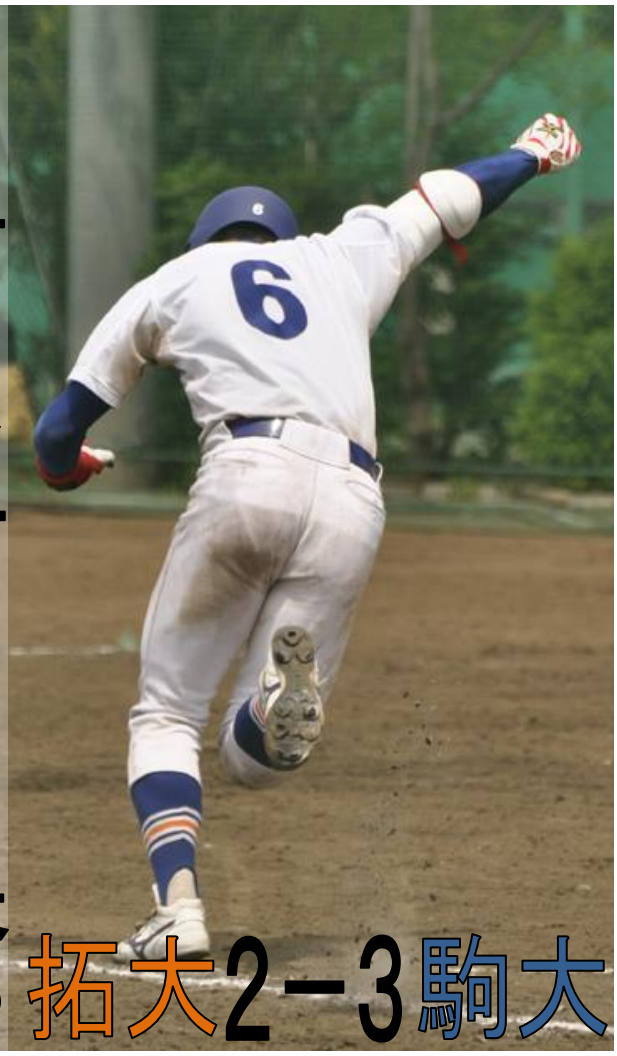
2回戦
10年春季リーグ
第4週・5月4日
2勝0敗

岡の粘りでサヨナラ決める！
接戦制し、連勝

今季初本塁打で先制点を入れる上村新


サヨナラヒットを放ち、喜ぶ岡

拓大2－3駒大

拓	大	000	020	000	2
駒	大	000	010	011x	3

5回、先発・井口拓皓(経2)が、満塁のピンチを招くと、二遊間の連携ミスが重なり、先制を許す。だがその裏、上村新(営4)の左越本塁打、8回で北畠俊也(経4)の右前適時打で追いつく。

同点で迎えた9回、1死満塁で岡将吾(法3)が中越適時打を放ち、サヨナラを決める。チーム目標の「粘り」が実り連勝で勝ち点を奪った。

先発・井口は4回までテンポよく3人ずつに打ち取る。安定した投球を見せるが、5回に先頭打者に中前安打を許すと、リズムが崩れ1死満塁に。ここで、遊ゴロから併殺を狙うが、二遊間の守備が乱れ、2失点。

援護したい打線は、その裏に上村新が左越本塁打を放ち1点を返す。だが、「嬉しさよりも、あと1点という意識だった」と冷静に勝機を見つめる。

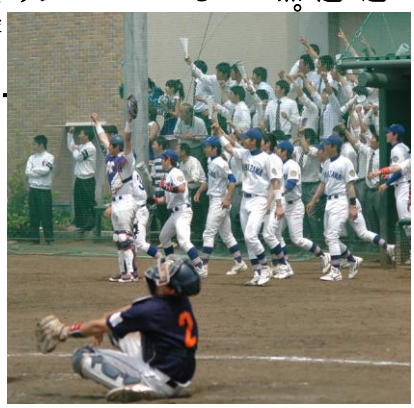
6回からは栗林駿一(経2)や板木勇幸(営2)といった今季初登板の2年生が踏ん張る。3投手の継投で無失点に抑える。

8回、死球で出塁した笠間将裕(商4)が、「打ってくれると信じていた」と、期待通りに北畠が右前適時打を放ち、同点。

迎えた最終回、マウンドに上がるのは友滝健弘(政3)。「0点に抑えよう」と、目標の投球を見せ、3人で締める。流れに乗るように打線も白崎浩之(法2)、代打・山下高久雅(法3)の連打で1死満塁、サヨナラの好機を作る。

ここで打席に入るのは打率4割・毎試合安打と好調の岡。「足が震えて、緊張した」と語るが、2ストライクから粘りに粘った打球は中堅手を越えていった。ベンチからは歓声が上がり、岡の手にはガッツポーズが光る。「みんなからはナイスバッティングって(言われた)。本当によかった」と笑みをこぼす。

次戦は未だ負け越している東農大戦。しかし、勝ち点を挙げなければ優勝は遠のく。勝ち越し目指し、いざ次のカードへ。


サヨナラを決め沸き上がるベンチ

写真＝桝島知佳
堀江あゆみ
橋本圭史
文＝菊池美紀

【駒　大】	打安点
⑥　岡	521
④赤　木	220
③笠　間	200
⑨山　本	320
DH北　畠	411
②上村新	411
⑦谷　口	300
⑤白崎浩	320
⑧中　谷	100
PH戸　柱	100
8小　林	000
PH山　下	110
PR竹　邑	000
	計 2911 3

▽本塁打＝上村新

	回	打安責
井　口	52/3	2250
小　倉	01/3	100
栗　林	12/3	710
板　木	01/3	100
○友　滝	1	300